

(行政報告)

ヤングケアラーに関する実態調査結果について

健康福祉部

市では、ヤングケアラーと思われる子どもを早期に発見し、支援につなげるための基礎資料とするために、子ども達の普段の生活、家庭や家族のこと、ヤングケアラーについての自覚や認知度、その他ヤングケアラーに係る要望等を把握することを目的とした実態調査をアンケート方式で実施いたしました。

この調査は、市内の小学校に通う6年生、市内の中学校に通う2年生、高校2年生相当の合計1,282名を対象として実施いたしました。小学生、中学生を対象とした調査では、各学校を通じて児童・生徒本人がタブレット等によりWeb上のアンケートフォームにアクセスして回答いただき、また、高校2年生相当を対象とした調査では、本人がスマートフォン等でWeb上のアンケートフォームにアクセスして回答いただきました。

小学生調査は377件の御回答をいただき、回収率は91.1%、中学生調査は384件の御回答をいただき、回収率は89.7%、高校生相当の調査は164件の御回答をいただき、回収率は37.3%でございました。

調査内容及び結果につきましては、別添の「白岡市ヤングケアラーに関する実態調査報告書」のとおりでございます。

今後は、御回答をいただいた調査結果や貴重な御意見を参考といたしまして、ヤングケアラー施策の推進資料として活用し、子どもの健やかな成長に対する支援策を進めてまいりたいと存じます。